

シリーズ  
防災安全  
No.4

# 今回のテーマは「共助」です!

「きょうじょ」と読みます。「互助(ごじょ)」とも言います。

前回にも少しご紹介しましたが、「自分たちのまちは自分たちで守る」、地域のみなさんと共に助け合うということです。

「共助」も「自助」と同じで、ポイントは災害が起きる前、つまり、事前の防災対策が重要です。地域で日頃から防災について話し合う機会はありますか？

救出や救助、初期消火、安全な避難などを行うために「自主防災組織」と呼ばれるものがあります。八百津町では平成14年、町防災計画に基づいて各自治会で自主防災組織の結成についてご検討いただいたのが始まりで、現在町内の自主防災組織率は92.4%(79自治会中73自治会)です。つまり、【自治会=自主防災組織】なんですね。この数字だけを見ると、ほとんどの自治会で組織されていることになりましたが、実際には毎年活発な活動をされている自治会もあれば、ほとんど活動がない自治会まで様々です。日頃から防災訓練等を行い、いざという時に協力して対策に当たれるような体制を作っておくことが、とても大切です。あの阪神・淡路大震災で救助された方のなんと約7割が、近所の方の手によるものでした。災害発生直後、救助は周りにいる人しかできないのです。地域は地域で守るという意識が、ひとりひとりの防災、減災にもつながって行きます。



また、火災などの災害からみなさんを守ってくれる消防団も、地域にとってとても大きな存在ですね。みなさんの自治会には消防団員がいますか？消防団員が誰かわかりますか？自治会と消防団が普段から連携しておくことも共助のひとつです。

地域のみなさんで、日頃からお互いに助け合える、支え合える関係を築き、地域の防災力をより大きなものにしていきましょう。

▶ 次回のテーマは「自主防災組織」です!

シリーズ  
包括支援  
No.2



# こんにちは 八百津町地域包括支援センターです

このようなことでお困りの方は、地域包括支援センターへご相談ください。  
介護保険とは、どんなものなの… 介護サービスの種類が知りたい…  
物忘れが多くなってきたので心配… 人と交流し話したい…  
認知症は、どんな症状なの… 一人暮らしで不安…  
腰や足が痛くて、掃除機などの重い物が持てなくなり、掃除ができない…

## 7月の予定

- ・12日(月) 高齢者のための「こころの相談」 午後から (事前に予約が必要です)
- 精神科病院で専門相談を受けている精神保健福祉士が、個別に対応し秘密は厳守します。
- 例えば…眠れない・何もしたくない・食欲がない・忘れることが多くなった等々ご相談ください。



こんにちは。小林と申します。  
地域包括支援センターは、高齢者の何でも相談窓口です。  
ご心配なことがあれば、どんなことでもお気軽にご相談ください。

主任介護支援専門員・保健師(小林)

問い合わせ 地域包括支援センター ☎43-3267または☎43-2111(内線2566・2567)